

**令和 4 年度
(令和 5 年度事業)
高知市共同募金委員会
助成事業実施報告書**

高知県共同募金会高知市共同募金委員会



◇目的

誰もが安心していきいきと暮らせる地域社会を実現するため、地域を良くしていこうと活動する福祉団体やボランティア団体等を支援する。

◇助成の種類

(1)高知市広域福祉活動支援事業

- 対象事業：広域的で公益性の高い活動及び事業に対し、助成を行う
- 対象団体：社会福祉団体、特定非営利活動法人、ボランティア団体等
- 助成限度額：総事業費の90%、最大20万円、但し同一事業に対する継続助成は最大3年

(2)小地域福祉活動支援事業

- 対象事業：小地域により良い具体的な変化が期待される活動及び事業に対し、助成を行う
- 対象団体：町内会、自治会や地域コミュニティ組織等
- 助成限度額：総事業費の90%、最大10万円、但し同一事業に対する継続助成は最大3年

(3)地域福祉推進事業

- 対象事業：高知市社会福祉協議会が行う地域福祉の活動及び事業に対し、助成を行う
- 対象団体：高知市社会福祉協議会
- 助成限度額：なし、但し単年事業で継続助成は原則5年

◇助成決定額

- (1)高知市広域福祉活動支援事業：5団体 680,000円
- (2)小地域福祉活動支援事業：8団体 703,000円
- (3)地域福祉推進事業：2事業 558,000円

◇事業募集から助成金交付までの流れ

- [受付期間] 令和4年12月1日～令和5年1月13日
- [審査] 令和5年2月13日(審査委員会)
- [決定] 令和5年3月27日(運営委員会)
- [事業実施期間] 令和5年4月1日～令和6年3月31日

～目次～

1 高知市広域福祉活動支援事業（5 団体）

1. ミームclub実行委員会 P 1
2. 高知県ボッチャ楽しむ会 P 2
3. 高知市町内会連合会 P 3
4. サードプレイスすろーを支える会 ふらっと P 4
5. こうちよさこいバリアフリー実行委員会・てんてこ舞 . . . P 5

2 小地域福祉活動支援事業（8 団体）

1. 子ども食堂 地域サロンほっと笑（潮江） P 6
2. CROSS SPORTS高知（一宮東） P 7
3. 上本宮町山手町内会（旭） P 8
4. 若宮こども食堂（長浜） P 9
5. オレンジカフェふなおか実行委員会（鴨田） P10
6. 久重地域連携協議会（一宮） P11
7. 子育てサロン・あさひグループ（旭） P12
8. こども食堂かもだ実行委員会（鴨田） P13

3 地域福祉推進事業（2 事業）

1. 寄付文化醸成事業 P14
2. 高知市災害ボランティアセンターネットワーク事業 P15

高知市広域福祉活動支援事業（5団体）

団体名
(事業名)

1. ミームclub実行委員会 (子ども食堂「畑からこども食堂へプロジェクト」)

総事業費

118,895円

(助成金 100,000円

その他財源

18,895円)

主な使途

食育を目的とした交流事業に係る器具什器費

実施内容

(※完了報告書より抜粋)

子ども食堂を定期的に開催しました。自分たちで作った作物を使って、みんなで一緒に調理をして季節を感じる食事作りができました。

健康な身体づくりをする為の体験や学びの場としての役割が果たせたと思います。これからも多くの人に食の大切さ、楽しさを広めていきたいです。

実施場所：はりまや町他 **実施回数：**月1回



子ども食堂の様子

ありがとうメッセージ

この度は助成金を活用させていただきました。おかげさまで大変作業がはかどり、みんなで楽しい時間を共有することができました。大人も子ども達も様々な体験をすることで、これからもたくさんの学びと良い思い出ができるようにプログラムを工夫して頑張っていきたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

審査委員からのコメント

自分たちで作った作物を使用することで、他の子ども食堂と差別化できていると思います。
子供さんもボランティアで手伝い、よい広がりです。

職員所感

自分たちで作った作物を調理することで、食の大切さを学ぶことができていると思います。また、畑作業の体験を通して食農教育の活動を広げることにも貢献されていると思います。今後も子ども食堂の開催を通して、多世代が交流し、様々な人の居場所となることが期待できます。

団体名
(事業名)

2. 高知県ボッチャたのしむ会 (コロナ感染対策をしボッチャを楽しもう)

総事業費

242,000円

(助成金 150,000円

その他財源

92,000円)

主な用途

得点板、パーテーション作成に係る材料費

実施内容

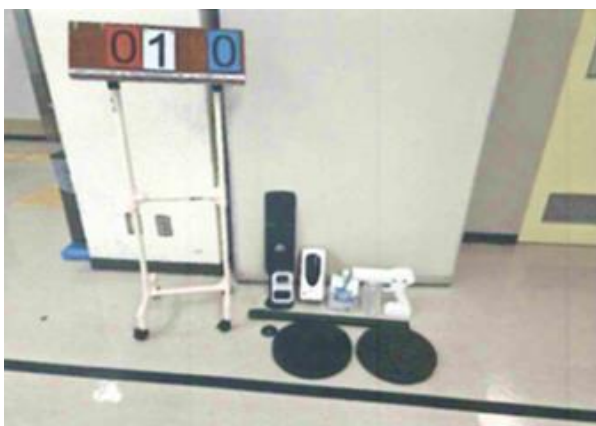
(※完了報告書より抜粋)

高知市内7ヶ所にてパーテーションを設置し、ボッチャの体験会・練習(月に1回定期的に)を行っています。布師田ふれあいセンター屋外にて(屋外は初)町内会イベントに参加し、ボッチャ体験会を開催しました。

パーテーションを設置することにより、参加者の飛沫対策に関与することができたのではないかと考えます。今後の課題としては、ランプ(補助器具)などを使用して、誰でもボッチャを楽しむことができるようにしたいと考えています。

実施場所：高知市内7ヶ所

実施回数：月1回



得点板とパーテーション

ありがとうメッセージ

市民の皆さま、この度は助成金を頂き、ありがとうございます。私ども(高知県ボッチャたのしむ会)は助成金を頂くことにより、パーテーション他を購入することができました。ボッチャ体験会・練習に参加される住民のコロナ感染対策に役立つことが出来たと確信しております。これからも対策を施し、住民の皆様とボッチャを楽しみたいと思います。本当にありがとうございました。

審査委員のコメント

ボッチャを通じて、コミュニティの広がりが期待できます。

職員所感

コロナ禍を経て、地域の支え合いの機能が低下しているという話もありますが、「ボッチャ」を通じて、地域の方々が新たに繋がり、コミュニティが広がっていると感じます。今後も、感染症対策には気を付けつつ、活動の幅を広げていき、様々な住民の方の「地域参加の場」になれると良いと思います。

団体名
(事業名)

3. 高知市町内会連合会（高知市町内会連合会広報活動）

総事業費

992,854円

（ 助成金 150,000円

その他財源

842,854円 ）

主な使途

年2回、各町内会・自治会へ配布する会報の発行に伴う作成費用

実施内容

（※完了報告書より抜粋）

当連合会では、年2回会報を発行しています。

9月号は町内会に加入している811町内会・自治会、1月号は高知市にある全町内会・自治会に配布し、組織の拡大を図っています。

この度の助成金により、紙面をカラーに変更し、わかりやすく読みやすくなるよう更新しました。会員からも大変好評をいただいております。

実施場所：高知市全域 **実施回数：**年2回(9月,1月)



作成した会報(カラー)

ありがとうメッセージ

この度は、広報活動(会報の発行)に助成金を活用させていただきありがとうございました。

当連合会は、少ない予算で運営・活動しておりますので、大変助かります。今後ともよろしく願いいたします。

審査委員からのコメント

会員に広く分かりやすく伝える為にも、カラー版になり良かったと思います。

職員所感

年2回の会報を通して町内会の活動の様子を発信することで、地域の実態や課題に関心を持つ方も増えると思います。また、会報を配布することで高知市の町内会活動の推進、活動の基盤となる組織の強化にも寄与していると思います。

団体名
(事業名)

4. サードプレイスすろーを支える会 ふらっと (障がい者、シニア等の居場所づくり)

総事業費

117,000円

(助成金 80,000円

その他財源

37,000円)

主な用途

広報紙作成に係る用紙代、封筒代、材料費

実施内容

(※完了報告書より抜粋)

障がいの有無にかかわらず、生きづらさを抱えている人たちと共に、当会が平成26年よりカルチャー教室を実施してきました。コロナの影響で、個別または数人単位で、随時社会のルールの学び、会話の楽しみ、趣味づくり、プチ旅等への刺激、自己達成感を体感するチャンス場として実施してきました。

社会参加の場が少ないシニア世代の方が、随時会話を楽しみながら、孤立感の軽減、生きる喜びを体感する場を設けたり、話題の中心となる終活や健康関係の学習会(細木病院の出前講座等の利用)を持つようにしました。

上記の目的のため、ボランティアが、カフェ「サードプレイス すろー」を借りて実施しています。中心地にあるカフェというこの場所が、敷居が低く入りやすく、目的達成の場所として適しています。

実施場所：サードプレイス すろー(はりまや町) **実施回数：**月2～3回



防犯教室(カルチャー教室)の様子



防災教室(スリッパ作り)

ありがとうメッセージ

数年来のコロナ禍の影響は、日頃から行き場所の少なかった利用者にとってマイナス要素として生活に響いていました。ですが、令和5年5月8日から「5類感染症」扱いに変わり、不定期ではあるものの、カルチャー教室を待ち望んでいた方々に連絡を入れ、開催できるようになりました。

シニアの方々がいつ行っても、誰かボランティアがいて、話の輪が広がる喜びを語ってくれます。気分転換をしながら、街にきて気軽に話をしたり、ちょっと知識をつけたり、困りごとや愚痴を言ってみたりできる、心地よい居場所になっているカフェ「サードプレイス すろー」。そのような居場所づくりのために、赤い羽根共同募金様が補助をしてくださっていることに利用者と共に厚く御礼申し上げます。また、このような場所が多く町の町にできることを期待しています。

審査委員のコメント

シニア世代の居場所作りになっており、良い活動だと思います。是非継続してください。

職員所感

カルチャー教室等への参加を通して、多くの人と出会い、人と繋がることへの喜びを体感できていると思います。地域の方の居場所、生きがいづくりの場として貢献されていると感じます。

団体名
(事業名)

5. こうちよさこいバリアフリー実行委員会 てんてこ舞 (よさこい参加事業)

総事業費 2,541,034円 (助成金 200,000円 その他財源 2,341,034円)

主な使途 地方車経費、衣装代等、よさこい運営に係る諸経費

実施内容 (※完了報告書より抜粋)

コロナウイルス感染症の流行も落ち着きがみえ、4年ぶりの通常開催となったよさこい祭り。台風の接近で危ぶまれることもありましたが、下は2歳から上は70代の年配まで54名の踊り子を迎え、助っ人さんたちのサポートの下、無事2日間踊りきることができました。障害の有無にかかわらず、幼児から高齢者まで心ひとつにして高知の夏を楽しみました。

沿道の人々にも、楽しさや頑張りは伝わったのではないかと思います。

実施場所：高知市内 実施期間：8月10日～8月11日



4年ぶりのよさこい祭り

ありがとうメッセージ

4年ぶりのよさこい祭りへの参加は思っていた以上に素晴らしい時間でした。台風接近に心配しましたが、助成いただいたおかげで、ほぼ万全の準備ができ、事故無く踊りきることができました。感謝申し上げます。

次年度以降もよさこい祭り参加へ向け、活動していきたいと思っています。

審査委員からのコメント

障害があっても無くても出番、発散をする機会があつて良いと思います。

今後も活動を頑張ってください。

職員所感

昨年度に引き続き、よさこい祭りに参加し、ノーマライゼーション及びバリアフリー社会の実現と障害者理解への啓発を行っています。また、よさこい祭りを通じて、障害の有無に限らず、様々な方がつながる場となっていることや、継続して実施することで生きがい・やりがいづくりの場として必要な活動となっています。

小地域福祉活動支援事業（8団体）

団体名
(事業名)

1. 子ども食堂 地域サロンほっと笑 《潮江地区》 (農作業を通して世代間交流のできる居場所づくり)

総事業費

111,943円

(助成金 100,000円

その他財源 11,943円)

主な使途

野菜の種苗、畑の賃借料、肥料代等の畑の維持に係る諸経費

実施内容

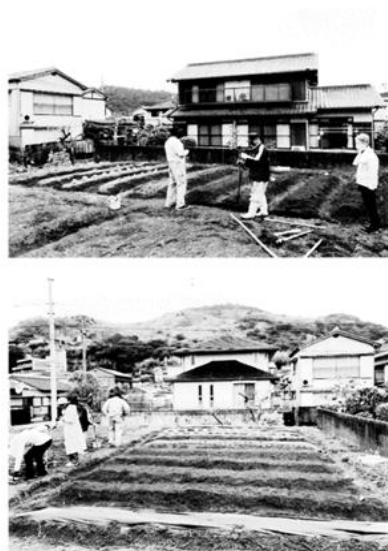
(※完了報告書より抜粋)

本事業を活用して、ほっと笑の北東にある畑で農作業を通して、子どもから大人までのあらゆる世代が一緒になって、栽培、手入れ、収穫、料理という経験を通して、人と人とのつながりができ、世代間交流の場とすることができました。また、ボランティアを希望しているものの、決して最初から畑作業好きばかりが集まっているわけではありませんが、作物の成長やできた作物をほっと笑の食材にしたり、園児や地域住民におすそ分けしたりしたことで、やりがいや生きがいを感じた、自分の居場所ができたという声もありました。今後の課題としては、令和6年度以降、ほっと笑ファームの予算を確保して継続していくことになります。

実施場所：高知市高見町 実施日：毎週月曜日



ほっと笑のチラシ



畑での作業風景



活動が掲載された新聞

ありがとうメッセージ

畑を整備する前は、荒れ地となっていて近所から苦情も出ていた空き地でしたが、畑ボランティア6名が協力で、見事に畑になりました。季節によっていろいろな作物ができ、野菜の値段が高騰している中、ほっと笑の食材に活用でき、ありがたかったです。ありがとうございました。

審査委員からのコメント

食堂の材料を自前で作っているのが素晴らしいと思いました。

シニアの居場所作りにもなっていて大変よい活動です。

職員所感

畑作業を通じて、自然と人と人がつながる場になっていると感じます。また、自分達で育てた作物が、活用されることによって、参加者のやりがいにもなっています。

今後も、地域の様々な住民の方の居場所や生きがいがいづくりにつながっていく活動だと感じます。

団体名
(事業名)

2. CROSS SPORTS 高知 《一宮東地区》 (多世代健康増進ふれあい交流事業)

総事業費

101,828円

(助成金 90,000円

その他財源

11,828円)

主な用途

モルックのミニ大会に係る用具等の費用、広報に係る諸経費

実施内容

(※完了報告書より抜粋)

幼児から高齢者まで、多世代が交流できるスポーツのひとつとして、モルックを実施しました。参加者は、小学生から70代の方で初対面の方もいましたが、自然と会話がはずみ、世代に関係なく楽しそうにゲームをし、交流している姿が印象的でした。このようなイベントは単発で終わるのではなく、今後も一宮東地区を中心に地域の団体と連携し合いながら、地域のつながり、活性化につなげていきたいと考えております。

実施場所：一宮東校区グラウンド

実施期間：8月5日～9月30日



多世代健康増進ふれあい交流事業

Mo i k k y

モルックとは？
1996年にフィンランドにて考えだされ、技術、体力を必要とせず、ルールもとても簡単のため、幅広い年齢の方が楽しむことができます。今ではヨーロッパの多くの国々で楽しまれており、日本のテレビ番組でも取り上げられています。

モルック体験会

令和5年9月30日(土)
日時 10:00～11:30
(受付) 9:30～
対象 小学生以上
会場 高知市立一宮東小学校 運動場
(高知市一宮東町一丁目20-1)
※雨天順延 10月9日(月)
講師 山崎 功一/隅田 雄三
日本モルック協会公認指導員・審判員
参加費 無料

●申し込み方法 ①QRコードを読み取り form で応募する
②メール (問い合わせ先) で参加の旨を連絡する
●持ち物 運動ができる靴・水分(水筒)・動きやすい服装・帽子等
●問い合わせ先 一社) CROSS SPORTS 高知 山崎 功一
TEL 090-2780-5633 E-mail koyamasa4351@icloud.com
【主催】一社) CROSS SPORTS 高知
協力) 高知市社会福祉協議会 一宮東連携協議会
※本事業は「高知市共同募金委員会」の助成を受けて実施します。

活動の様子



モルック用品

事業の広報

ありがとうメッセージ

助成金をいただき、このような活動ができたことに深く感謝しております。ありがとうございました。
今後も、地域の方々とともに地域を「こじやんと元気にする」ために地道な活動を続けて行きたいと思っております。

審査委員からのコメント

モルックを使用して、多世代間交流ができていると思います。
1回のイベントではもったいないので、何回か定期的に行うといいのではないかと思います。

職員所感

モルックを通じて、多世代が交流できる場になっています。今後も地域のつながりづくりのきっかけになるよう、地域の方々が楽しみながら集まれる場として、活動を継続していただければと思います。

団体名
(事業名)

3. 上本宮町山手町内会 《旭地区》 (防災農地を活用した地域住民のつながりづくり)

総事業費

83,221円

(助成金 63,000円

その他財源

20,221円)

主な用途

農具・肥料等消耗品, 町内向け広報活動費, 燃料代

実施内容

(※完了報告書より抜粋)

防災倉庫前の空き地を開墾する作業に、これまで町内会行事に参加のなかった40～60代の男性の参加があり、町内活動の基盤が広がりました。

芋ほりとその後の芋天を食べるイベントには、旭小学校5年生が授業の一環で参加し、町内会・自主防災活動の学びの場の提供ができました。旭小学校との連携も深まり、小学校での防災授業への協力を始め、学校と一緒に取り組む行事が増えています。

実施場所：上本宮町山手町内会防災倉庫前農地, 公民館(イベント) **実施期間：**通年



町内活動の様子

ありがとうメッセージ

防災農地の整備という活動で、町内の若手男性の協力が新たに得られたことが大きな成果です。きっかけがないだけで、地域には実は地域活動に参加意欲のある方がたくさんいる事が分かりました。今後も、潜在的な活動者に働きかけて、町内活動を盛り上げていきたいです。

審査委員からのコメント

町内会活動の一環として多世代の住民が参加し、住民同士で町内会活動を盛り上げていると思います。

防災農地の整備という重要な取り組みだと思いました。

職員所感

防災農地の整備を通して、多世代が交流できるきっかけづくりになっています。特にこれまでつながりのなかった世代が地域活動に参加されたことは、地域づくりにとって、大きな成果だと捉えます。

また、町内会のみだけでなく、小学校との連携を深めて活動を行ったことについても、町内会活動の幅が広がるきっかけになると感じます。

団体名
(事業名)

4. 若宮こども食堂 《長浜地区》 (子ども食堂)

総事業費

298,800円

(助成金 100,000円

その他財源

198,800円)

主な使途

子ども食堂開設にかかる物品の購入、食品等の消耗品、広報費

実施内容

(※完了報告書より抜粋)

令和5年度は計12回の子ども食堂を開催することができました。しかし、新しく食堂を開設したため、現状では地域への認知度が乏しく、予定していた人数より参加者は少ない状況でした。食堂を知り、定期的に参加しに来てくださる親子さんは増えているため、今年度も活動は継続していきたいと思います。

さらに、今年度はより地域への周知を広げ、また関係機関(子育て関係)との連携を行いながら、子ども食堂の機能(アウトリーチ等)を活かしていきたいと考えています。

実施場所：若宮八幡宮社務所 **実施日：**毎月第1土曜日



子ども食堂の様子

ありがとうメッセージ

初めて子ども食堂を開催し、地域の子どもたちと触れ合う機会が持てました。また、食事だけでなく、食堂に来た子どもさん同士、また親御さん同士の交流が見られるようになり、ネットワーク作りにも必要な場ということが認識できました。さらには一人暮らしの高齢者の方等も元気な子どもたちの姿を見ることで、元気づけられた等の声を聞くことができ、子ども食堂が開催できたことで多くの事が得られたと感じています。

来年度はもっと地域に知ってもらえるよう活動していく事、子ども食堂が必要な家庭へ向けた発信ができるよう協力機関等と連携して活動を継続していきたいと思っています。

審査委員からのコメント

子供同士・親同士のボランティアが一体となって活動しており、大変素晴らしいと思います。

職員所感

食堂開設にあたる物品購入や広報に活用したことにより、定期的な開催ができています。食事の提供だけでなく、子どもや親、高齢者等のネットワークが出来てきたことは、一つの成果と感じます。

今後、関係機関等の連携を通して、活動の幅が広がり、様々な方の居場所となることを期待しています。

団体名 (事業名) **5. オレンジカフェふなおか実行委員会 《鴨田地区》
(オレンジカフェふなおか実行委員会)**

総事業費 150,000円 (助成金 50,000円 その他財源 100,000円)

主な使途 ホワイトボード代

実施内容 (※完了報告書より抜粋)

医師や薬剤師、リハビリの先生やボランティアの方々に説明していただく際に、ホワイトボードを使用して、利用者の方に分かりやすい説明ができました。

これからもいろんな方をお招きして、認知症に関わる講座などに活用させていただきます。

実施場所：ふなおか自治会集会所 **実施回数：**月1回



参加者の様子

ホワイトボードの作業風景

ありがとうメッセージ

高齢者の方々は、紙面での説明の理解が難しくても、大きな画面で映し説明すると理解しやすく、楽しく喜んで使わせていただいております。

ありがとうございました。

審査委員のコメント

認知症予備軍の対応としてもいい取り組みだと思います。

シニアにもわかりやすいホワイトボードを、是非認知症予防にも活用して下さい。

職員所感

毎月、認知症カフェの開催が出来ており、周辺にお住まいの住民さんにとっては、楽しく過ごせる「居場所」になっていると感じます。全国的にも高齢化率は高まっており、認知症の方も増えていくことが予測されていますが、今後も活動を継続していただき、より活動の幅を発展させていくことを期待しています。

団体名
(事業名)

6. 久重地域連携協議会 《一宮地区》 (ほおっちょけんの久重づくり事業)

総事業費

113,680円

(助成金 100,000円

その他財源

13,680円)

主な用途

学習シリーズチラシ作成に係る謝礼, オレンジポスト回収交通費, 印刷費

実施内容

(※完了報告書より抜粋)

「ほおっちょけんの久重づくり事業」は支え合いの地域づくりを目指して、オレンジポストの運営を根幹に進めてきましたが、支え合いの久重づくりを進めていく上ではまだまだ課題整理や目指すべき方向、そこへ到達するための道筋が不透明な状況にあります。

今年度は、そのための理論的な整理を行い、明確な方向性を構築して、地域学習を進めることとしました。アドバイザーの協力により学習シリーズチラシを作成することによって、ほぼ目標を達成することができました。

実施場所：久重地域 実施期間：通年



久重地域の広報

作成した学習シリーズチラシ

ありがとうメッセージ

ほおっちょけんの久重づくり事業のイメージやそこに至る道筋がもやもやした状態にありましたが、地域学習資料を作成する過程で鮮明化させることができました。キーとなる課題はボランティア活動団体の結成であることが地域で共有でき、生活支援ボランティア団体を結成した町内会も生まれ、連携協議会では「高知市訪問型B事業」の導入に向けた検討プロジェクトを立ち上げることができました。

審査委員からのコメント

学習資料を作成することで、言語化・イメージ化することができた点がよかったと思います。

職員所感

オレンジポストの運用をきっかけに、地域学習資料を作成することにより、地域の困りごとをキャッチする機能構築や学習機会を持つことができました。「高知市訪問型B事業」の導入も進めており、今後も久重地区の地域生活課題解決に向けた地域福祉活動に活かしていただきたいと思います。

団体名
(事業名)

7. 子育てサロン・あさひグループ 《旭地区》 (赤ちゃん誕生おめでとう訪問)

総事業費

112,997円

(助成金 100,000円

その他財源

12,997円)

主な用途

離乳食用スプーン, 昆布茶, 包装用品

実施内容

(※完了報告書より抜粋)

高知市母子保健課赤ちゃん訪問の担当保健師の協力を得て、希望する家庭への出産祝いを届ける活動です。R5年4月～R6年3月1日現在、48世帯への訪問活動ができました。

出産後、相談相手もなく、心細く過ごしている母子が多く、大変喜んでもらえています。

実施場所：高知市旭地区一部 **実施期間：**通年



赤ちゃん訪問の様子



お祝い品の離乳食スプーン

ありがとうメッセージ

県外からの移住者、転勤族の方からは特に安心してもらえる存在になっていると感じています。また、育児に不安を抱えている方、障がい児の赤ちゃん等の支えになれること、地域で温かく支え合えるきっかけになっていると思っています。「赤ちゃん訪問」と子育てサロンを通して、末永くお付き合いをしていきたいと願い、訪問活動を行っています。この活動に対し助成を頂き、大変ありがたく、感謝の気持ちでいっぱいです。誠にありがとうございました。

審査委員からのコメント

少子高齢化時代に赤ちゃん誕生おめでとう訪問は、母親に対しても大変励みになり、素晴らしい活動です。

保護者と地域をつなぐためにも良い活動だと思います。

職員所感

地域のつながりの希薄化や少子化問題がクローズアップされる現代社会で、地域で孤立しがちな県外移住者や転勤族、子育てに困りごとを抱えている家庭とつながりが持てる「赤ちゃん訪問」は、訪問を希望する家庭、あさひグループ双方につながるの好循環が生まれています。今後も「赤ちゃん訪問」から「子育てサロン」という切れ目のない関係性を継続していただきたいと思います。

団体名
(事業名)

8. こども食堂かもだ実行委員会 《鴨田地区》 (鴨田地域の家庭への配食事業と子ども食堂の運営)

総事業費

1,574,466円

(助成金 100,000円

その他財源

1,474,466円)

主な使途

食品支援での見守り活動に伴う必要経費

実施内容

(※完了報告書より抜粋)

鴨田地域の家庭への配食事業を実施しました。子どもを養育する生活困難家庭(病気・障害・不登校など)に見守りを兼ねて食品支援を行いました。毎月第3火曜日に保健師・スクールソーシャルワーカー・実行委員会スタッフが届け、現在39世帯145名に宅配しています。

子ども食堂も弁当形式にて毎月第4土曜日に再開し、90食販売(子ども無料)しました。子どもの利用者を増やしたいと考えています。

実施場所：鴨田地域(配食事業)、しばてんハウス神田(子ども食堂)

実施日：毎月第3火曜日(配食事業)、毎月第4土曜日(子ども食堂)

「こども食堂かもだ」を応援してくださる皆さんへ
こども食堂かもだ実行委員会の皆さんへ

**残暑お見舞い申し上げます。
お弁当始めました。毎月完売です。**

今年2月から、しばてんハウス神田にて、第4土曜日に弁当を作って販売しています(子ども無料・大人300円)。「食堂」ではないですが、地域の方々に喜ばれ、7月も90個を完売しました。

また、3年前から始めた「見守りを兼ねた食品支援」も継続しており、現在30世帯120名にお届けしています。保健師やSSWさんに、猛暑の中、届けて貰いました。

たくさんのご協力ありがとうございます。

食品支援も弁当作りも、助成金・寄付金・数々の食品提供・保管場所の提供・見守り訪問など、たくさんの方々のご協力を頂いています。これからも「地域の子育て支援」を継続していきますのでよろしくお願ひ致します。

8月26日、お弁当作ります。
お手伝いできる方、ぜひ来て下さい。

780-8040 高知市神田 320-22 2023.8.17
こども食堂かもだ実行委員会 代表 簡井美由紀
TEL 080-6282-1212 FAX 088-832-4341

「こども食堂かもだ」を応援してくださる皆さんへ
こども食堂かもだ実行委員会の皆さんへ

あけましておめでとうございます

皆さんに支えられて、8年目を迎えました。
助成金、寄付金、様々な食品提供やボランティアスタッフのおかげで、元気づけ活動をしています。
みんなの居場所としての食堂再開を望む声もあり、地域の期待が寄せられています。今年も応援よろしくお願いします。

「食品支援」「お弁当販売」がんばっています。

地域で困難を抱える方々への「見守りを兼ねた食品支援」は4年目となり、保健師やSSWさんの協力で、現在140名の方々に届け、たいへん喜ばれています。

また、昨年2月からはお弁当販売(子ども無料)を開始し、毎月90個完売です。中学生スタッフや新しいスタッフも加わり調理を楽しんでいます。
寄付金・食品提供・買出し・袋詰め、調理など、ご協力大歓迎です。

「しばてんハウス神田」で調理

販売時間前
の長蛇の列

袋一杯の食品を
手から手へ

2024.1.1
780-8040 高知市神田 320-22 TEL 080-6282-1212
こども食堂かもだ実行委員会 代表 簡井美由紀



こども食堂かもだの広報

ありがとうメッセージ

毎月食品が届いて嬉しいです。すぐに食べられる食品がありがたいです。

(食品支援を受けた方の声)

安く(300円)、栄養バランスが取れた美味しいお弁当を毎月楽しみにしています。助成金を貰っていると聞きました。ありがとうございます。(弁当購入者の声)

審査委員からのコメント

子ども食堂、配食までして大変だと思いますが、今後も継続していただきたいと思います。

職員所感

子ども食堂の運営並びに、子育て世帯への配食活動は、鴨田地域にお住まいの住民にとって、大いに貢献されていると感じます。活動を行う中で、様々な課題を抱える家庭との関わりもあると思いますが、行政や関係機関とも上手く連携しつつ、支援を継続してもらいたいと思います。

地域福祉支援事業（2事業）

団体名
(事業名)

1. 高知市社会福祉協議会 (寄付文化醸成事業)

総事業費

300,000円

(助成金 300,000円

その他財源 0円)

主な用途

赤い羽根共同募金ジャンパー, 赤い羽根ロゴ入り風船

実施内容

(※完了報告書より抜粋)

共同募金運動期間中に使用する資機材として、市社協の「ほおっちょけん」キャラクターと共同募金マークの「赤い羽根」を活用したジャンパーを作成し、10月・12月の街頭募金時に地区委員会、助成団体の方とジャンパーを着用し、働きかけを行いました。また、赤い羽根ロゴ入り風船も活用して、様々な年代に関心を寄せるきっかけづくりを行いました。

街頭募金時にジャンパーや赤い羽根ロゴ入り風船を活用することで、共同募金の街頭募金を実施していることが明確になり、様々な世代で足を止めてくれる方が増えました。結果、12月の街頭募金では、昨年度より募金額が増加となりました。また、地区委員会や助成団体、事務局で一体感を持って共同募金運動を実施することができました。

共同募金運動を推進していくためには、27地区委員会と事務局で工夫を重ねて取り組んでいく必要があります。今回作成したジャンパーを共同募金活動推進の為の一つのツールとして、27地区委員会にも有効活用していただけるよう、再度周知し、共同募金に関心を寄せるきっかけを共に作りながら、寄付文化の醸成を図る必要があります。

その他活用：能登半島地震義援金街頭募金、高校生に向けた共同募金運動啓発授業等



赤い羽根共同募金街頭募金運動

ありがとうメッセージ

募金額が近年減少する中で、更なる共同募金運動推進の為に事務局としても模索しておりましたが、この助成金を活用して資機材を作成・活用でき、街頭募金等を通じて、改めて事務局、地区委員会、助成団体が一体となり、高知市のまちをよくする仕組みの為に啓発活動することができたと思います。

今後も27地区、事務局で工夫を重ねながら共同募金活動を推進していきたいと思っています。ありがとうございました。

審査委員からのコメント

赤いジャンパーは街頭募金運動の際にも目立っており、大変良いと思います。

職員所感

近年減少する一方である共同募金運動を変えていく為にも、地域の方に寄り添いながら、事務局としての工夫も今後検討していく必要があると思います。

団体名
(事業名)

2. 高知市社会福祉協議会 (高知市災害ボランティアセンターネットワーク事業)

総事業費 258,000円 (助成金 258,000円 その他財源 0円)

主な使途 研修に係る研修講師謝金、災害ボランティアセンター運営模擬訓練に伴う必要経費

実施内容 (※完了報告書より抜粋)

高知市災害ボランティアセンターネットワーク会議においては、参画団体の担当者が毎年変更されることから、平時からの連携を目的に、運営協力承諾書・担当窓口連絡票・緊急連絡網を参画団体から提出いただきました。また、新たに高知ライオンズクラブも加入することで、今後更なる発展が期待されます。新たに地域の中で災害ボランティアセンター運営模擬訓練を実施し、地域の方に知っていただく機会となり、実際に「来年も実施してもらいたい、また参加したい」「よくテレビで見たことがあったが、実際運営すると手続き等が大変ということが分かった」等、災害ボランティアセンターは被災時の生活再建を担っている事を知っていただく機会となりました。

今後、他地区でも模擬訓練を行いたいと考えています。実施する地区の選定が必要であり、ある一定地域の実情に合わせた訓練内容についても検討が必要です。また、被災状況により災害ボランティアセンターの設置候補地での開設が難しい状況も視野に入れ、候補地以外の模擬訓練についても考えていく必要があります。

模擬訓練： 大津小学校体育館、参加人数54名(大津住民26名) **実施日：** 令和5年11月19日



災害ボランティアセンターネットワーク会議



災害ボランティアセンター運営模擬訓練



ありがとうメッセージ

共同募金の協力があつたことで、ネットワーク会議や模擬訓練の実施が可能となりました。また、ネットワーク会議や模擬訓練へ参加できなかった方にも報告書を郵送できたことで、災害ボランティアセンターの重要性や必要性について理解していただくことができたと考えます。更に、模擬訓練を実施したことで、災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの改善点も検討することができ、マニュアルの改訂に向けても準備をすることができました。

審査委員からのコメント

今、とても必要な活動だと思います。

災害ボランティアセンター運営模擬訓練では、地域の住民が参加してくれた点が良かったと思います。

職員所感

災害はいつ発生するか予測ができない為、災害を想定し、いかに準備を進めていくかが大切だと考えます。今後、マニュアルをもとに、会議に参画している団体と一緒に模擬訓練を重ねていき、災害時により早く、被災された方へ支援の手が届く取組が必要と思います。

令和6年度高知県共同募金会高知市共同募金委員会の様子



令和4年度(令和5年度事業)
高知市共同募金委員会助成事業実施報告書

作成日 2025年2月1日
発行者 高知県共同募金会高知市共同募金委員会
連絡先 〒780-0850 高知市丸ノ内1丁目7番45号
総合あんしんセンター3階
TEL : 088-823-9570
FAX : 088-856-5549